

daily コラム

2017 年 12 月 11 日(月)

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-8-49 ヒューリック福岡ビル 7 階
税理士法人かさい会計 TEL 092-771-4421 FAX 092-771-1417
Email info@kasai-grp.co.jp

“カスケードダウン”

“カスケードダウン”とは、目標管理制度で目標を設定する際、経営戦略に基づいて設定された年度経営目標から、部・課・担当者へと目標を細分化することを指し、「cascade(カスケード:瀧のように落ちる)」の意味から、目標を上から下へ「段階的に順次細分化する」ことを意味します。

非管理者の立場で、「目標達成度で評価されるなら、目標達成基準を低く設定すれば達成し易くなる」という「目標矮小化現象」が起きたことが、多くの企業で一時間題となり、その防止策として、目標を自己の裁量で設定するのではなく、上位目標の細分化により設定する方法がとられています。

“カスケードダウン”の課題解決策

“カスケードダウン”を実施するに伴い、一般に次の課題が生じており、それらの解決策について述べます。

- ①適切な“カスケードダウン”がなされたことの確認方法。
- ②“カスケードダウン”を行うことが、“押しつけ目標”となりやすい問題の解決法。
- ③経営目標の達成基準が「業務の質の改善・改善（例えば、「企画提案レベルの向上」であった場合、“カスケードダウン”をどのように行ったらよいか。

【課題と解決策】

課題	解決策
①上位目標から“カスケードダウン”された適正な目標であることの確認	・適切な目標設定を行う チェックリスト「SMART」を活用し、部・課の目標設定ミーティングにおいて、仲間同士が、相互にチェック、確認し合う。
②“カスケードダウン”に伴う“押しつけ目標”の排除	・目標設定ミーティングで、主体的・挑戦的な目標設定を誘導 ・「チャレンジ度基準」の設定、適用
③「質的改善・改革目標」の“カスケードダウン”方法	所管部署（部・課）の業務に即して目標を設定 「上位の経営目標・組織目標」を受けて、「所管業務の問題点・課題を発見し、改善・改革する目標」とする（重要度点数化）

質的向上目標の“カスケードダウン”を実施することは、質的目標の定量化・計数化を工夫することに繋がります。



「質」の“カスケードダウン”
は担当業務に即して！